

実践者×研究者と語る、現代社会の困難＝希望をめぐる 難問へのチャレンジ

2024年

12月22日（日）

14:00～16:30

グランフロント大阪 北館 7-C8階
ナレッジキャピタルカンファレンスルーム
7-C Room01+02にて

※会場へのアクセス

<https://www.kc-space.jp/conference/items/towerC.pdf>

大規模災害の頻発、国際情勢の不安定化、人口減少、家族の形・働き方・暮らし方の変化、多文化化、貧困・格差…、私たちの足元から世界まで大きな揺らぎの中にあります。改めて人間の共同性とは何か、コミュニティ・デザインとは何か、問い直し、アクティブな知として鍛え直す必要に迫られています。今秋刊行した『コミュニティ・デザイン新論』（さいはて社）では、政策科学、社会学、減災・人間科学、建築・都市計画学、事業構想学など、多分野を横断して、現代社会の困難＝希望をめぐる難問に向き合いました。

このたび出版を記念して開催するセッションでは、バックグラウンドの異なる気鋭の執筆陣、実践者・研究者が一堂に会して、ご来場のみなさまとともに、本書が設けた3つの難問へのチャレンジをテーマに対話を展開します。ぜひご参加ください。

申込方法：<https://x.gd/0F68r> から、もしくは二次元コードからお申込みください⇒

定員：150名程度（予定、申込順）※参加無料

主催：大阪ガスネットワーク エネルギー・文化研究所（CEL）

協力：さいはて社

問合せ先：CEL弘本（電話06-6205-3518/080-1510-0259）まで



※書籍の詳細は

<https://saihatsha.com/books02-35.html>

※会場にて書籍をお買い求めいただけます。

特価（税込3,000円）キャッシュレス
(PayPay)可

プログラム

14:00 開会

主催者ご挨拶／出版社ご挨拶／執筆陣紹介

14:15～16:15

3つの難問をめぐるダイアログ[第1幕～第3幕]

本書の第1部～第3部で設定した3つの難問をめぐる、執筆陣がホスト役・ゲスト役・狂言回役・コメント予定者となり、ホスト・ゲストの問答を皮切りに、ご来場のみなさまを交えて対話を繰り広げます。

ホスト役（監修者）：新川達郎（総合地球環境学研究所 客員教授、同志社大学名誉教授）

狂言回役（編者）：川中大輔*（龍谷大学社会学部准教授、シチズンシップ共育企画代表）、山口洋典（立命館大学共通教育推進機構教授）、弘本由香里*（大阪ガスネットワークCEL特任研究員）*は総合司会兼

【第1幕（第1部の難問をめぐる）】

テーマ：共生社会に向けての包摂／平等化はいかにして可能か？

ゲスト役：原めぐみ（和歌山工業高等専門学校准教授、Minamiこども教室実行委員長）

コメント予定者：筒井淳也（立命館大学産業社会学部教授）、北川美里（一般社団法人京都わかかさねっと事務局）ほか

【第2幕（第2部の難問をめぐる）】

テーマ：むら・まちの持続／縮退はいかにして可能か？

ゲスト役：松原永季（有限会社スタヂオ・カタリスト代表取締役）

コメント予定者：渥美公秀（大阪大学大学院人間科学研究科教授）、大和田順子（OCC教育テック総合研究所上級研究員、地域力創造アドバイザー（総務省））、花戸貴司（東近江市永源寺診療所所長）ほか

【第3幕（第3部の難問をめぐる）】

テーマ：現代的な共同性／公共性の創造はいかにして可能か？

ゲスト役：宋 悟（NPO法人IKUNO・多文化ふらっと理事・事務局長）

コメント予定者：高田光雄（京都美術工芸大学副学長・大学院研究科長・教授、京都大学名誉教授）、前田昌弘（京都大学大学院人間・環境学研究科准教授）、アサダワタル※録画（文化活動家、近畿大学文芸学部専任講師）ほか

16:15～16:30 総括コメント（高田光雄・山口洋典）／閉会

